

## 伊勢プロジェクトについて

- 代表の長尾久は、2002年から2014年8月までの12年間中国プロジェクトに関わり、その間3分の2を毎月中国に滞在する活動をしてきました。2005年からは、その時間を伊勢プロジェクトに費やすことになりました。職業会計人として1983年に独立してから早くも31年が経過しました。伊勢プロジェクトでは、経験と実績を4C事業方式で展開します。
  - 4C事業方式とは、若い世代との協働(Cross Generation)と国際文化との融合(Cross Culture)をkeywordとして、ネットワーク(Communication)を構築し協働(Collaboration)により問題解決(Solution)に取り組みます。4C Solution事業と略称します。
  - 伊勢プロジェクトを立ち上げるに際して、2015年度より公認会計士協会の所属地区を東京支部から東海支部に変更しました。それに伴い、名古屋駅ルーセントタワー40階に名古屋事務所を開設しました。活動範囲は東海地区を範囲とします。伊勢市の拠点は現在SOHO事務所ですが、展開状況に応じて地域市街地の中心に事務所を新設する計画です。事業の範囲は、当面下記のようになりますが、状況により内容の重点は変化することになります。
- ①国際化対応業務の充実（関東地区及び東海地区でのINBOUND及びOUTBOUND国際業務）
  - ②中国及び東南アジア進出日系企業コンサルティング業務
  - ③地方活性化業務・町おこし支援
  - ④資産税（主として相続対策）業務
  - ⑤事業承継及び合併・分割・営業譲渡などのコンサルティング業務

以上の趣旨に賛同いただける事業家との協働を期待していますので、協働情報より連絡のほどよろしくお願い申し上げます。